

# 大和郡山ソリデール

## 楽しもう大和郡山～学びも暮らしも～

積極的な世代間交流や助け合いを地域で紡ぐ異世代ホームシェアプロジェクト「大和郡山ソリデール」を紹介します。



自宅に空部屋を持つ世帯



故郷を離れて学ぶ学生



いってらっしゃい、良い1日を

実際に同居を始めて1年が経つ所有者Yさんと同居学生Oさんに、その暮らし心地を伺いました。

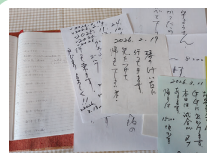


「2階で音が聞こえるだけで、誰かがいてくれるという安心感があり、ぐっすり眠れます。朝、『いってらっしゃい』と声をかけることが、私にとっても気持ちの良い一日のスタートなんです」(Yさん)

「一人暮らしだと、全てを自分一人で抱えなければなりません。ソリデール生活なら、学業や課外活動に専念しながら、温かい交流も持てる。そのハードルの低さが魅力です」(Oさん)

かつては海外でのホームステイ経験もあり、「いつか恩返しをしたい」と考えていたYさん。2階の空き部屋を有効活用したいと説明会に参加しました。当初は「高齢の自分に務まるか」という迷いや、遠方に住む娘さんからの心配もありましたが、今ではその気がかりは「安心感」へと変わっています。

一方のOさんは奈良高専入学後、敷地内に併設された寮に住んでいました。4年生への進級を機に、一人暮らしを検討していましたが、学業と自炊の両立や経済的な負担が懸念材料でした。生活を共にする中で、当初心配されていたご両親も「Yさんは元気？」と聞かれるほど、家族公認の深い信頼関係が築かれています。



スケジュールをノートで毎日共有！  
琴のけい古に行きます。(Yさん)  
インターンのために帰省します。(Oさん)

暮らしのなかでの交流

Yさんの娘さんと一緒にお城まつりへ (Oさん)  
Oさんの吹奏楽部の演奏へ駆けつける (Yさん)  
地域の清掃活動へ参加 (Oさん)

編集後記：こぼれ話

Yさんは当初、お風呂のタイルが冷たいことを気にしてリフォームを検討されていました。しかし、Oさんの「シャワーだけなので大丈夫ですよ」という気負わない一言に救われたそうです。互いを思いやる、そんなちょっとした優しさが、この暮らしを支えています。

## 家族でもなく、同年代の友人とも違う、温かい交流

「ソリデール (solidaire)」とは、フランス語で「連帯」を意味します。自宅の空き部屋を故郷を離れて学ぶ学生に提供し、お互いのプライバシーを守りながら、単に住まいを共有するだけではなく心も通わせる豊かな交流が、現在、市内では4組の家庭で育まれています。



負担のない「ほど良い距離感」で、実家のような快適生活



一人暮らしへの半歩のステップ、世代を超えた学び合い



愛犬と過ごす心地よい環境で、ここでしかできない経験を

## 大和郡山ソリデールを支える皆さん



NPO法人 空き家コンシェルジュ

市担当者と一緒に所有者の自宅を訪問し、状況確認や希望などを伺い、建物調査をします。所有者・学生と賃貸借契約を締結し、同居後もフォローします。



奈良工業高等専門学校

奈良高専には15歳から22歳までの学生が在籍していますが、本事業に応募するのは18歳以上(大学生相当)の学生です。勉強や研究に真面目で素直な学生が多い一方、実社会や地域と関わり、常識や経験を学ぶ機会が十分とは言えません。全国から集まる意欲ある学生が通学負担を減らし、学業に集中できるよう、ぜひ挑戦を応援してください。

併せて、お知り合いの中学生に「奈良高専に興味ある？」と声をかけていただければ嬉しく思います。



情報工学科 准教授 岩田 大志さん

① 所有者は学生への食事の提供は不要です。奈良高専生は学生寮の食堂利用が原則です。

② 対象世帯や対象住居などの受入条件、同居開始までの流れなどの詳細は市HPをご覧ください。



市HPはこちら

大和郡山ソリデール説明会を開催します。実際の暮らし心地や温かいエピソードを、ぜひ聞きに来てください。

日時：7月12日(日)10時～11時30分  
会場：奈良工業高等専門学校本館2階 地域創生交流室  
申込：7月10日(金)12時までに、①名前②参加人数③住所④電話番号を電話、メールでまちづくり戦略課 公民連携空き家利活用推進室へ  
(☎33-1759・✉senryaku@city.yamatokoriyama.lg.jp)

